



## 平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月5日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6965 URL <http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 晝馬 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 森 和彦 TEL 053-452-2141  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	34,282	14.3	6,168	43.4	6,341	32.8	4,301	18.8
29年9月期第1四半期	29,981	0.5	4,300	△14.4	4,775	△6.0	3,621	△3.1

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 5,142百万円 (△25.5%) 29年9月期第1四半期 6,900百万円 (103.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	27.40	—
29年9月期第1四半期	23.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	234,634	184,606	78.4
29年9月期	239,331	187,558	78.1

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 183,960百万円 29年9月期 186,939百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	17.00	—	17.00	34.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期 (予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	67,700	4.2	11,600	3.9	11,700	△2.3	8,500	△4.7	54.52
通期	136,300	4.4	23,600	3.3	23,900	△0.6	17,500	△1.6	112.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期1Q	167,529,968株	29年9月期	167,529,968株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	11,620,686株	29年9月期	10,213,886株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期1Q	156,970,553株	29年9月期1Q	157,316,210株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、企業収益が改善する中で設備投資は緩やかに増加し、輸出も持ち直すなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、その足取りは力強さに欠け、また海外経済の成長に依る部分が大きい中、新興国経済の先行き懸念や欧米の政治動向などの不確実性により、景気の先行きは依然として楽観できない状況となっております。

このような状況におきまして、当社グループは、独自の光技術を活かした研究開発及び将来に向けた積極的な設備投資を継続することで、売上高、利益の拡大に努力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は34,282百万円と前年同期に比べ4,301百万円(14.3%)の増加となりました。また、利益面につきましては、営業利益は6,168百万円と前年同期に比べ1,867百万円(43.4%)の増加、経常利益は6,341百万円と前年同期に比べ1,565百万円(32.8%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,301百万円と前年同期に比べ679百万円(18.8%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [電子管事業]

光電子増倍管は、医用分野におきましては、PETなどの核医学検査装置向けの売上げは伸び悩んだものの、血液分析などの検体検査装置向けが増加いたしました。また、油田探査装置向け及び高エネルギー物理学実験等の学術向けの売上げも順調に推移いたしました。

イメージ機器及び光源は、産業分野におきまして、非破壊検査装置向けのマイクロフォーカスX線源の売上げが好調に推移いたしました。また、医用分野におきまして、X線画像を可視像に変換するX線シンチレータの売上げが増加いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は12,920百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益は4,522百万円(前年同期比24.3%増)となりました。

#### [光半導体事業]

光半導体素子は、産業分野におきまして、産業用ロボット等の制御などFA(ファクトリーオートメーション)分野においてシリコンフォトダイオードやLEDの売上げが国内を中心に増加したほか、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサの売上げも好調に推移いたしました。また、環境分析機器をはじめとした分析機器向けに、イメージセンサ・フォトダイオードの需要が増加いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は16,255百万円(前年同期比15.7%増)、営業利益は5,366百万円(前年同期比31.8%増)となりました。

#### [画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、半導体の製造検査に使用される半導体故障解析装置については、前期の大型案件が完了し落ち着いたこと、またアジアの大型案件が下半期以降に延期となったことから、売上げが伸び悩んだものの、病理デジタルスライドスキャナが、国内海外ともに順調に推移し、売上げを伸ばしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は4,132百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益は700百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

#### [その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント(その他)の売上高は974百万円(前年同期比0.1%減)、営業損失は62百万円(前年同期は営業利益68百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、自己株式の取得及び米国子会社の買収などにより現金及び預金が14,648百万円減少したことから、流動資産は前連結会計年度末に比べ11,726百万円減少しております。

固定資産の主な変動は、米国子会社の買収に伴うのれんの増加により、無形固定資産が4,331百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ7,029百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,697百万円減少し、234,634百万円となりました。

流動負債の主な変動は、設備関係支払手形(流動負債その他)が2,817百万円増加したものの、電子記録債務が3,306百万円及び賞与引当金が2,586百万円それぞれ減少したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,439百万円減少しております。

固定負債の主な変動は、厚生年金基金解散損失引当金が534百万円増加したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ694百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ1,745百万円減少し、50,028百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が1,622百万円増加したものの、自己株式の取得により5,413百万円減少したことなどから、当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ2,951百万円減少し、184,606百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月13日付けで公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=110円、1ユーロ=125円を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	83,902	69,253
受取手形及び売掛金	33,608	33,060
商品及び製品	8,742	9,162
仕掛品	16,389	16,708
原材料及び貯蔵品	6,620	7,511
その他	7,729	9,566
貸倒引当金	△159	△155
流動資産合計	156,834	145,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,668	35,879
機械装置及び運搬具(純額)	9,843	9,975
工具、器具及び備品(純額)	3,951	4,282
土地	16,545	16,550
リース資産(純額)	299	340
建設仮勘定	5,983	3,451
有形固定資産合計	68,291	70,479
無形固定資産		
のれん	9	4,392
その他	1,688	1,636
無形固定資産合計	1,697	6,029
投資その他の資産		
投資有価証券	3,684	4,160
繰延税金資産	6,412	6,265
その他	2,429	2,610
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	12,507	13,018
固定資産合計	82,497	89,526
資産合計	239,331	234,634

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,232	5,483
電子記録債務	8,866	5,559
短期借入金	2,230	2,236
1年内返済予定の長期借入金	3,194	3,188
未払法人税等	3,517	1,779
賞与引当金	4,570	1,984
その他	12,446	17,387
流動負債合計	40,059	37,620
固定負債		
長期借入金	3,683	3,641
厚生年金基金解散損失引当金	—	534
退職給付に係る負債	7,025	7,084
その他	1,004	1,148
固定負債合計	11,713	12,407
負債合計	51,773	50,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	131,678	133,301
自己株式	△16,060	△21,473
株主資本合計	185,219	181,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,259	1,568
為替換算調整勘定	1,210	1,681
退職給付に係る調整累計額	△750	△718
その他の包括利益累計額合計	1,719	2,531
非支配株主持分	618	646
純資産合計	187,558	184,606
負債純資産合計	239,331	234,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	29,981	34,282
売上原価	15,288	16,631
売上総利益	14,692	17,650
販売費及び一般管理費	10,392	11,482
営業利益	4,300	6,168
営業外収益		
受取利息	36	6
投資不動産賃貸料	27	33
為替差益	370	70
持分法による投資利益	31	21
その他	66	94
営業外収益合計	533	226
営業外費用		
支払利息	28	16
不動産賃貸費用	15	21
その他	13	15
営業外費用合計	57	53
経常利益	4,775	6,341
特別利益		
固定資産売却益	8	2
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	8	2
特別損失		
固定資産売却損	5	1
固定資産除却損	7	3
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	—	534
特別損失合計	13	539
税金等調整前四半期純利益	4,770	5,804
法人税等	1,126	1,485
四半期純利益	3,643	4,318
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,621	4,301



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	3,643	4,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	201	308
為替換算調整勘定	3,022	481
退職給付に係る調整額	36	32
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	1
その他の包括利益合計	3,256	823
四半期包括利益	6,900	5,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,885	5,113
非支配株主に係る四半期包括利益	14	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,151	14,047	3,806	29,005	975	29,981	—	29,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	428	187	2	618	129	748	△748	—
計	11,580	14,235	3,808	29,624	1,105	30,729	△748	29,981
セグメント利益	3,638	4,071	674	8,385	68	8,453	△4,153	4,300

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,153百万円には、セグメント間取引消去△361百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,792百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,920	16,255	4,132	33,308	974	34,282	—	34,282
セグメント間の内部売上高又は振替高	436	232	3	671	131	802	△802	—
計	13,356	16,487	4,136	33,980	1,105	35,085	△802	34,282
セグメント利益又は 損失(△)	4,522	5,366	700	10,589	△62	10,527	△4,359	6,168

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△4,359百万円には、セグメント間取引消去△360百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,998百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。